Course number	U-LAS07 10005 LJ31				
Course title (and course title in English)	日本社会論 Introduction to Japanese Society		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Part-time Lecturer,KIMURA JUN	
Group	Humanities and Social Sciences	Field(Classification)	Understanding Japan		
Language of instruction	Japanese	Old group	Group A	Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)	Year/semesters	2024・Second semester
Days and periods	Thu.4	Target year	1st year students	Eligible students	International students

[Overview and purpose of the course]

この講義では、日本社会の成り立ちから各時代を通じて、社会がどのように変化してきたのかについて、要点を抑えながら把握する。また、社会の変化をいくつかの転換点で捉え、特に近・現代社会を切り開く“近代化”が果たした役割やその移行の過程で起こった出来事について学ぶ。そのうえで、現代社会の新たな局面であらわれた「リスク」や加速する「個人化」という観点から、現代日本社会が直面する諸問題について考察する。

[Course objectives]

1. 日本社会の構造や制度について、社会変動の転換点を踏まえながら、過去から現在にわたって理解する。
2. 上記で学ぶ事柄が、現代日本社会の意識構造の基盤として、現代的諸問題をどのように形成し、影響を与えているかについて理解する。

[Course schedule and contents)]

第 1回　講義のすすめかた
第 2回　日本社会の原風景：地理的条件と日本的特徴
第 3回　過去の日本社会①：古代専制国家
第 4回　過去の日本社会②：中世封建制
第 5回　過去の日本社会③：近世封建制
第 6回　学生発表（出身国・出身地域との比較）、ディスカッション
第 7回　近代化による社会変容①：明治期
第 8回　近代化による社会変容②：大正期から第二次世界大戦後まで
第 9回　近代化による社会変容③：高度経済成長から現代まで
第10回　日本的集団主義：これまで語られてきたこと
第11回　学生発表（出身国・出身地域との比較）、ディスカッション
第12回　現代日本社会における問題①：日本的働き方
第13回　現代日本社会における問題②：教育の現場はどうなっているのか？
第14回　現代日本社会における問題③：家族の形態はどのように変化したのか？
第15回　講義の内容の振り返り、まとめ

＊基本的に上記の順序で講義をすすめるが、講義の進捗状況により、順番や回数、講義内容を変更する場合がある。

Continue to 日本社会論(2)↓↓↓

日本社会論(2)

[Course requirements]

日本語・日本文化研修生専用科目として開講する。

[Evaluation methods and policy]

口頭発表・ディスカッションへの参加度（30%）、および期末レポート（70%）。

[Textbooks]

Not used
適宜、プリント等を配布する。

[References, etc.]

（References, etc.）
冨永健一『日本の近代化と社会変動』（講談社学術文庫）ISBN:978-4061589520
小熊英一『日本社会のしくみ』（講談社現代新書）ISBN:978-4065154298
高谷好一『『世界単位日本』』（京都大学出版会）ISBN:978-4814000791
吉見俊哉『ポスト戦後社会』（岩波新書）ISBN:978-4004310501
高野陽太郎『「集団主義」という錯覚』（新曜社）ISBN:978-4788511156

[Study outside of class (preparation and review)]

講義内でも適宜指示するが、参考書をもとに予習・復習をしてください。

[Other information (office hours, etc.)]

講義終了後に随時受け付けます。